

令和8年度 仙台市当初予算（案）の概要

令和8年1月27日

仙 台 市

目次

I 令和8年度当初予算

令和8年度当初予算のポイント及び予算規模	… 3
令和8年度当初予算の概要及び施策体系	… 4
柱1 こども・若者を育む	… 5
柱2 世界に誇れるまちを創る	… 9
柱3 共生のまちを築く	… 14
職員の意識改革と行政運営	… 18

II 参考資料

当初予算額（全会計）の推移	… 20
歳入予算額の内訳と推移	… 21
歳出予算額（目的別）の内訳と推移	… 22
歳出予算額（性質別）の内訳と推移	… 23
令和8年度当初予算編成における財源確保	… 24

凡例

新：令和8年度より新たに実施する事業

拡：令和8年度より事業内容等を拡充して実施する事業

※事業毎の額は、原則、万円未満切り捨て

※本資料は新年度予算案のうち、主な事業をまとめたものであり、取りまとめの関係上、当初予算案概要説明資料と柱の位置づけ等が異なる場合あり

※その他の主要施策には再掲を含む場合あり

令和8年度当初予算のポイント及び予算規模

令和8年度当初予算のポイント

ひとの力がまちを動かし、まちでの挑戦がひとを成長させるという好循環の創出に向け、

- ・こども・若者を育む (1, 188億円)
- ・世界に誇れるまちを創る (914億円)
- ・共生のまちを築く (1, 938億円)

の3つの柱を中心に予算を編成

※ () 内の金額は主要事業の合計額

令和8年度当初予算額

- 市全体の当初予算額 : 1兆3,405億円 (前年度比+772億円)
- うち一般会計当初予算額 : 7,306億円 (前年度比+549億円・過去最大規模)

	令和8年度	令和7年度	増減額	前年度比
一般会計	7,306億円	6,757億円	+549億円	108.1%
特別会計	3,379億円	3,309億円	+70億円	102.1%
企業会計	2,720億円	2,567億円	+153億円	106.0%
合計	1兆3,405億円	1兆2,633億円	+772億円	106.1%

令和8年度当初予算の概要及び施策体系

ひとの力がまちを動かし、まちでの挑戦がひとを成長させるという好循環の創出に向け、3つの柱を中心に予算を編成

柱1

こども・若者を育む

子育てが楽しいまち

- 【新】第2子以降の保育料無償化(919)
- 【新】小学校における学校給食費の完全無償化(3,563)
- 【新】体験格差是正のためのバウチャー事業(27)

安心して学べるまち

- 【新】学校支援チームの設置(2)
- 【拡】国際的な視点に立った教育の推進(467)
- 【新】水泳授業指導補助委託(46)

こども・若者が輝くまち

- 【新】仙台若者会議(1)
- 【新】仙台若者未来フォーラム(1)

ほか

柱2

世界に誇れるまちを創る

強みを生かした経済成長

- 【拡】起業家・スタートアップ支援(368)
- 【新】まちなか実証ラボ(21)

「体験型・観光都市」の推進

- 【拡】漫画・アニメコンテンツを活用した誘客促進(60)
- 【拡】秋保大滝滝見台等整備(758)

防災環境都市づくり

- 【新】アジア太平洋防災閣僚級会議開催準備(74)

特色を生かした地域づくり

- 【拡】泉区役所建替(13,380)
- 【拡】長町・歩いて楽しい街並み形成促進(41)

ほか

柱3

共生のまちを築く

ケアのまち

- 【新】(仮称)ケア支援条例によるケアのまち推進(5)
- 【新】医療型短期入所送迎支援モデル事業(2)

誰もが活躍できるまち

- 【新】(仮称)仙台シティフロントセンター設置準備(9)
- 【新】外国人住民実態調査の結果を踏まえた実証事業(16)

暮らしと命を守るまち

- 【新】医療提供体制調査検討(21)
- 【新】救急搬送体制の強化とドクターカー等の整備(83)
- 【新】防災ノックアウト被害防止対策パッケージ推進(257)

ほか

※事業名後の()内は事業費(単位:百万円)
原則、百万円未満切り捨て

職員の意識改革と行政経営

- 【新】窓口開庁時間短縮(7)

ほか

柱1 こども・若者を育む

柱1 こども・若者を育む

- こどもたちが健やかに学び、夢を描けるよう、子育てを社会全体でフルサポートする。
- 安心が広がる学校づくりを進めるとともに、こどもたちの学びの環境の充実を図る。
- 若者の柔軟な発想力や多様な価値観を取り込みながら、まちの未来をデザインする。

子育てが楽しいまち

【新】 第2子以降の保育料無償化 9億1,958万円

⇒多子カウント方法の年齢制限等を撤廃し、第2子以降の保育料を無償化するとともに、第3子以降の副食費免除等を行う。

【拡】 西公園への屋内遊び場の整備 3億8,124万円

⇒西公園南側区域を計画地とした屋内遊び場の整備に向けて、施設の設計や管理運営計画の策定を行う。

【新】 体験格差是正のためのバウチャー事業 2,754万円

⇒こどもの体験格差是正のため、クーポン等の利用を通じて体験活動への参加を支援する制度導入の準備を行う。

【新】 小学校における学校給食費の完全無償化 35億6,377万円

⇒食材料費に係る国・県からの交付金の不足分を本市が負担し、市立小学校において学校給食費を完全無償化する。



仙台市の
おいしい学校給食
(2025年全国学校給食
甲子園受賞献立)

安心して学べるまち

【拡】 国際的な視点に立った教育の推進 4億6,701万円

⇒国際的な視点に立った教育を推進するため、新教科開発のほか、小学校ALTの拡充や(仮称)仙台国際探究ラボの整備、国際的な体験活動等を行う。

柱1 こども・若者を育む

子育てが楽しいまち

拡 こども医療費助成の拡充 10億6,573万円
令和8年4月より対象を中学3年生までから18歳
年度末までに拡大するとともに、500円の利用者一
部負担金を廃止する。

拡 18歳未満の国民健康保険料無償化 ※歳出予算なし
18歳に達する最初の年度末までのこどもの均等割
保険料減免を拡充し、令和8年度から無償化する。

拡 産後ケアリフレッシュ型モデル事業 715万円
利用者の多様なニーズに対応するため、宿泊施設
を活用し、産後の母親の心身の休息に特化した産後
ケアのリフレッシュ型モデル事業を実施する。

拡 若年・子育て世帯住み替え支援 7,267万円
若い世代の本市への定着、郊外居住区域を中心と
したエリアのコミュニティの維持を目的として、若
年世帯又は子育て世帯の住み替えを支援する。

出産育児支援金 5億6,556万円
子育て家庭の経済的負担の軽減を図るため、健康
保険から給付される出産育児一時金に加えて、本市
独自に9万円を支給する。

新 5歳児健康診査モデル事業 255万円
5歳児健康診査の実施に向けたモデル事業を実施
する。

新 妊産婦等生活援助 2,960万円
支援の必要性の高い妊産婦等に対し、通所又は入
所により安心して生活できる居場所を提供するほか、
相談支援や関係機関へのつなぎの支援を実施する。

新 のびすく仙台の移転拡充 1,058万円
令和10年度に予定している、のびすく仙台のアエ
ル5階多目的ホールへの移転・拡充に向けた設計を
行う。

新 児童クラブの待機児童ゼロ 2億7,453万円
児童クラブ待機児童ゼロの実現に向け、利用を希
望するすべての児童の受入れを前提とした環境の整
備を進める。

新 南小泉交通公園再整備 5,501万円
こどもが楽しく遊びながら交通ルール等を学べる
よう、老朽化対応や利便性向上に加えて、交通公園
としての機能の充実化を官民連携により行う。

柱1 こども・若者を育む

安心して学べるまち

新 学校支援チームの設置 241万円
専門家で構成する学校支援チームを設置し、学校への派遣・助言を行うことで、いじめ事案の深刻化を防ぐ。

新 いじめ未然防止プログラムの研究開発 44万円
大学と連携して、いじめの未然防止のため、小学校低学年を対象とした教材を開発する。

新 学びの多様化学校の設置準備 150万円
市立の学びの多様化学校（中学校）の設置に向けた準備を行う。

新 不登校児童生徒等支援活動への援助 200万円
不登校児童生徒及び保護者への支援の充実を図るため、多様な学びの体験活動や保護者支援活動等に取り組む地域団体を支援する。

新 不登校児童生徒定期健康診断 406万円
不登校児童生徒に対し、学校外の医療機関で健康診断受診の機会を提供する。

拡 在籍学級外教室「ステーション」の設置推進 4億2,048万円
不登校の未然防止や児童生徒の社会的自立に向けた支援を行うため、担当教員の配置を増員し、ステーションの設置を拡充する。

拡 いじめ対策支援員の配置 1億2,836万円
いじめ事案の課題を抱える小学校に対して、退職教員や退職警察官によるいじめ対策支援員の配置を拡充する。

新 水泳授業指導補助委託 4,663万円
市立小中学校における水泳授業について、民間等のプール施設での授業実施に複数年かけて移行する。

拡 部活動の地域展開 5,659万円
部活動指導員の配置や外部指導員の派遣など、部活動の地域展開に資する取組みを推進する。

拡 学校版BPRの推進 1,700万円
令和7年度の調査と施策立案を基に、課題が共通する学校業務のBPRを行うとともに、学校の実態に合わせた業務改善を推進する。

柱1 こども・若者を育む

こども・若者が輝くまち

新 仙台若者会議 94万円
若者の意見表明の機会を確保するため、若者の視点から施策を評価し、その意見等を市政に反映させる仕組みとして、仙台若者会議を設置する。

新 中高生年代の居場所づくりモデル事業 500万円
公共スペースなど、既存施設を活用した中高生年代の居場所づくりに関するモデル事業を実施する。

拡 結婚支援イベント 203万円
大規模な結婚支援イベントを開催し、結婚を希望する方に出会いの機会を提供する。

新 仙台若者未来フォーラム 190万円
まちづくりに関心のある若者が他の若者や他世代など多様な主体と交流し、新たな協働を生み出す場として、イベントを開催する。

次世代起業家育成支援 900万円（前倒し補正含む）
小学生から高校生、高専生を対象にアントレプレナーシップ醸成プログラム等を実施し、次世代の起業家育成を目指す。

結婚新生活支援 1億4,109万円
結婚して新生活を始める若い世代を対象に、新生活のスタートアップに要する家賃や引越費用等の補助を行う。

柱1におけるその他の主要施策

- 施設型給付 273億5,062万円
- 児童手当支給 203億9,633万円
- 私立保育所運営委託 119億9,271万円

- 学校教育施設整備 88億9,402万円
- 地域型保育給付 66億5,388万円
- 児童館運営管理 39億1,049万円

柱2 世界に誇れるまちを創る

柱2

世界に誇れるまちを創る

- 持続的な成長に向け、強みを生かした経済成長を目指す。
- 「攻めの観光」を展開し地域の成長につなげるとともに、各都市と連携し世界から人を呼び込む。
- 各区の特色を生かしたまちづくりを推進する。 ■ 防災環境都市としてのブランド力向上を図る。

強みを生かした経済成長

【拡】 起業家・スタートアップ支援

3億6,832万円（前倒し補正含む）

⇒エコシステムの発展に向けて、ロールモデルとなるスタートアップとその予備軍の発掘育成、起業のすそ野のさらなる拡大、多様な起業を推進する。



国際スタートアップ
イベント
「DATERISE!」

【新】 まちなか実証ラボ

2,150万円（前倒し補正含む）

⇒大学や技術シーズを有する企業等に対し、市民参加型の先端の実証を行う場の提供と支援を行い、イノベーション創出と市内企業等の活性化を目指す。

「体験型・観光都市」の推進

【拡】 漫画・アニメコンテンツを活用した誘客促進

6,036万円

⇒本市にゆかりのある漫画・アニメを活用して、国内外への本市の認知度の拡大を図るとともに観光誘客と周遊促進につなげる。

【拡】 秋保大滝滝見台等整備

7億5,800万円

⇒秋保温泉エリア近隣の観光施設の新たな価値の創造を図るため、滝見台及びアプローチ路等の工事を実施する。



日本三名瀑
秋保大滝

柱2 世界に誇れるまちを創る

強みを生かした経済成長

- 新** オープンイノベーション共創・協業支援 **1,155万円** (前倒し補正)
市内企業等と大企業との連携を促すことで、製品やソリューション等の新たな価値を創出し、市内企業等の成長や地域課題の解決につなげる。
- 新** 国際的企業の誘致 **1,458万円**
首都圏オープンイノベーション施設への拠点設置や注目度の高い展示会への出展等により、国際的企業との交流機会を創出し、企業立地を促進する。
- 新** 企業版ふるさと納税による大学支援 ※歳出予算なし
企業版ふるさと納税において、新たに大学との産学官連携事業の強化に資する寄附メニューを設ける。
- 新** アクセル・ライズ支援 **1,197万円** (前倒し補正)
地域中核企業輩出支援パッケージにおいて、専門的な知見や実務能力を有する社外の複業人材等を活用し、新規事業やプロジェクトの推進力を高める。
- 拡** スマート農業機械等導入支援 **2,100万円** (前倒し補正)
集落営農組織が導入するスマート農業機械や新たな技術・機械に対して支援を行い、農作業の効率化や生産性向上を図る。
- 拡** 中心部商店街将来像検討 **1,630万円**
中心部商店街の抱える諸課題の解決につなげるため、若手組合員を中心とした将来のまちづくりに関する議論や取組みの支援等を行う。
- 拡** ウェットラボ整備促進 **1億7,350万円**
研究開発企業等の受け皿となるウェットラボ(実験装置や薬品等を用いる科学実験に特化した施設)の整備を促進する。
- 拡** ライフステージの転機を捉えたUIターン促進 **3,204万円** (前倒し補正含む)
首都圏在住で東北出身の社会人を主なターゲットとして、定期的なイベントの開催及び情報発信等を通じて、UIターンの増加につなげる。
- 拡** 都心再整備支援 **7億3,881万円**
老朽建築物の建替えを促進し、都心部の賑わいを創出するため、再開発等による建築物の整備や高機能オフィス等の整備を支援する。
- 新** 女性の健康課題に関する実態調査等 **512万円**
働く女性の健康課題と仕事の両立に関する事業所等実態調査事業のほか、女性の健康課題解決に係るシンポジウムを行う。

柱2 世界に誇れるまちを創る

「体験型・観光都市」の推進

拡 インバウンド推進 3億3,773万円
市場別プロモーションやウェブなどでの情報発信強化に加え、市内事業者のセールス機会拡大や受入環境整備等、多角的なインバウンド誘致促進を図る。

新 高級ホテル立地促進調査 500万円
高級ホテルの立地促進に係る施策検討のための事例調査、経済波及効果試算等の調査を実施する。

拡 大河ドラマ誘致 1,650万円
政宗公の生涯を描く新たな大河ドラマの放送を目指し、機運醸成イベントの開催やホームページのリニューアル等を行う。

新 客引き行為等防止巡回パトロール 7,521万円
客引き行為等防止のため、禁止区域内において業務委託によるパトロールを実施し、魅力と活力のある安全で快適な街の実現を目指す。

拡 青葉山エリア複合施設整備 13億9,562万円
複合施設の実施設設計に着手するとともに、整備予定地における調査業務を行うほか、管理運営に関する検討や機運醸成等を目的とした先行事業等を行う。

新 秋保地区二次交通実証運行 2,500万円
湯元周辺から秋保大滝までの送客を目的とした二次交通を強化するとともに、湯元域内での周遊強化を目的としたループバスを実証運行する。

拡 大手門復元整備等 5,122万円
令和18年(伊達政宗公没後400年)の大手門復元に向け、各種調査及び整備基本計画の改定を行う。

拡 アートによる定禅寺通エリア魅力創出 6,704万円
現在進行する定禅寺通再整備工事の完了後を見据え、新たな魅力や賑わいを創出することを目的に、定禅寺通でアートプロジェクトを実施する。

柱2 世界に誇れるまちを創る

防災環境都市づくり

新 アジア太平洋防災閣僚級会議開催準備 7,463万円
開催市として実行委員会の設置とともに国連防災機関や内閣府と連携して本体会議や関連イベント等の企画・運営、歓迎・情報発信事業等を行う。

拡 仙台防災枠組推進 918万円
市内外における仙台防災枠組の理解を深めるとともに、ステークホルダーの育成・連携をより一層強化する。

拡 杜の都スタイル普及拡大 608万円
市民や事業者の行動変容を促すため、仙台らしい環境にやさしい行動を「杜の都スタイル」として発信強化し、取組みの水平展開を図る。

新 住宅への太陽光発電導入等補助 1億6,730万円
令和9年度からの新築建築物への太陽光発電導入等促進制度施行を見据え、住宅への導入等を促進するため、新築や既築住宅への新たな補助を実施する。

拡 脱炭素先行地域づくり 11億5,677万円
対象エリアにおいて、既存住宅への太陽光発電等の導入や既存ビルの省エネ改修等を推進するほか、市民の環境配慮行動を促進する取組み等を行う。

新 循環経済への移行の推進に向けたリサイクル実証 561万円
将来的な再商品化計画への組み入れ等を目指し、粗大ごみプラスチック製品のリサイクルの実装に向けた実証事業等を行う。

柱2 世界に誇れるまちを創る

特色を生かした地域づくり

拡 Fun, Fan, Find 青葉 635万円
仙台駅から西公園・勾当台公園をつなぐエリアの
魅力発信と活性化に向けた取組みを実施する。

拡 海浜エリア活性化(宮城野区・若林区) 4,866万円
東部の海浜エリアにおいて、回遊性の向上や来訪
環境・コンテンツ整備、海や貞山運河などエリア特
有の魅力を生かしたイベント等を実施する。

拡 長町・歩いて楽しい街並み形成促進 4,170万円
旧国道4号沿道(長町商店街エリア)において、歩
いて楽しい街並みの形成に向け、まちづくり団体へ
の支援や活動環境の整備に取り組む。

拡 宮城総合支所庁舎等建替 5,690万円
新たな地域の拠点として、その機能の充実・強
化を図るため基本設計に着手する。

拡 泉区役所建替 133億8,072万円
現在取り組んでいる民間活力を導入した庁舎の
建替を確実に進めるとともに、新庁舎移転に関す
る情報発信を行い、移転を着実に実施する。

拡 泉中央地区活性化 2,377万円
泉中央エリアの回遊性や魅力の向上につなげる
ため、地域の関係団体とともに、エリアマネジメ
ント活動を推進する。

柱2におけるその他の主要施策

- 地域産業金融支援 222億1,812万円
- 市役所本庁舎建替 182億1,354万円
- スポーツ施設整備 72億5,203万円

- 資源物リサイクルの推進 36億6,626万円
- 仙台国際センター施設整備 30億8,033万円

柱3 共生のまちを築く

柱3 共生のまちを築く

- 地域で互いに支えあう「ケアの視点」をまち全体に広げていく。
- ダイバーシティの視点も踏まえながら、誰もが自分らしく暮らせる社会の土台を整備する。
- 市民が安心・安全に暮らせるまちであるため、都市基盤の強靱化を図る。

ケアのまち

【新】(仮称)ケア支援条例によるケアのまち推進 592万円

⇒「(仮称)ケアラー支援条例」の制定に向けて、ケアラーを対象とした実態調査を行うほか、検討会議を設置し、ケアラー支援施策の検討等を行う。

【新】ツキノワグマ被害防止対策パッケージ推進

2億5,784万円

⇒市民の安全安心な暮らしを守るため、引き続き全庁連携により捕獲体制強化や出没抑制対策など総合的な施策パッケージを推進する。

誰もが活躍できるまち

【新】(仮称)仙台シティフロントセンター設置準備 922万円

⇒全区の住民登録事務やパスポート事務等を取り扱う拠点として、「(仮称)仙台シティフロントセンター」をアエル5階に設置するための工事設計を行う。

クマの誘引木伐採の様子



暮らしと命を守るまち

【新】救急搬送体制の強化とドクターカー等の整備 8,352万円

⇒令和9年度の小松島救急隊新設に要する救急車の整備等を行うとともに、仙台オープン病院へのドクターカー等の整備に向けた検討を行う。



本市で運用している
ドクターカー
(仙台市立病院)

柱3 共生のまちを築く

ケアのまち

新 医療型短期入所送迎支援モデル事業 244万円
医療的ケア児者や重症心身障害児者の家族負担軽減のため、医療型短期入所への送迎に民間搬送事業者等を利用した場合の費用の補助をモデル実施する。

新 民生委員活動支援 360万円
担当地区のほかに欠員地区をカバーしている民生委員児童委員に対し、活動費を上乗せして支給する。

拡 終活支援 300万円
「今を大切に生きる終活支援条例」に基づき、市民の終活を支援するため、終活に関する周知広報等を行うとともに、相談窓口の開設・運営等を行う。

拡 認知症の人と家族とともに推進する共生社会づくりの強化（一部特別会計含む） 573万円
「仙台版チームオレンジ」の強化など、認知症の本人と家族が認知症サポーター等と活躍できる地域づくりや、新しい認知症観の普及啓発を推進する。

新 計画相談支援・障害児相談支援体制強化 1,445万円
相談支援体制強化のため、新たな相談支援専門員の雇用への補助や支援力向上研修、事業運営に係るコンサルテーション等を一体的に実施する。

新 ヤングケアラー実態調査 584万円
市立学校数校を対象に実態調査を行い、ヤングケアラーを把握するとともに、ヤングケアラーやその家庭を支援につなげるモデル事業を実施する。

拡 多様な人材の活用促進・定着支援（特別会計） 1,672万円
初めて外国人介護人材を受入れる事業者の伴走支援やタイ人材とのマッチング事業を実施し、交流会等の既存事業と併せて多様な人材の活用を支援する。

新 就学前療育支援体制のあり方検討に向けた実態調査 304万円
市民ニーズや現状等を踏まえて就学前療育支援体制のあり方を検討するため、児童発達支援事業の利用児童の保護者、事業所に対する実態調査を行う。

柱3 共生のまちを築く

誰もが活躍できるまち

新 難聴高齢者補聴器購入費助成 3,598万円

高齢者の認知機能低下やフレイル等のリスクを低減し、健康寿命の延伸を図るため、補聴器購入に係る費用の一部を助成する。

新 敬老乗車証対象交通機関拡大 6,666万円

令和7年度実施の実証実験を踏まえ、紙回数券による運用での新たな対象交通機関として、愛子観光バス及びタケヤ交通の路線バスを追加する。

新 消防団機械器具置場の機能強化 6,260万円

エアコン設置や照明のLED化など活動環境の向上を図るとともに、更衣スペースの設置やトイレ洋式化など女性や若年層も活動しやすい環境整備を進める。

新 障害者アート活用推進 1,406万円

文化芸術分野における障害者の活躍の機会を広げ、障害理解と障害者の社会参加を一層推進するため、定禅寺通での障害者アート展示イベント等を行う。

新 外国人住民実態調査の結果を踏まえた実証事業

1,601万円（前倒し補正含む）

外国人住民向けに日本の生活ルール等を伝えるため、やさしい日本語による啓発ツールを作成するほか、地域交流や医療受診に関する実証事業を行う。

新 ジェンダード・イノベーション推進 102万円

ジェンダード・イノベーションの考え方を普及するための市民向け講座を開催する。

拡 特設窓口における外国人対応 1,163万円

外国人ならではの「ちがい」に配慮し、デジタル技術を活用しながら、国外から転入する外国人向けの仙台市外国人国外転入特設窓口を臨時開設する。

拡 東北大学国際卓越研究大学対応

1,100万円（前倒し補正含む）

東北大学の国際卓越研究大学認定を契機とした外国人増加への対応として、官民連携によるダイバーシティ推進に寄与する実証実験等を行う。

柱3 共生のまちを築く

暮らしと命を守るまち

新 医療提供体制調査検討 2,179万円
次期地域医療構想等を見据え、本市医療提供体制の現状や課題等について調査分析し、適切な医療提供体制の確保に必要な施策の検討を行う。

新 初期救急医療体制調査検討 2,365万円
救急患者の増加を見据え、初期救急医療体制の充実強化や安定的な確保に向け、急患センター等の休日夜間診療所のあり方検討を行う。

新 感染症情報発信サイト構築 930万円
次の感染症危機を見据え、市民や医療関係者が感染症情報を迅速かつ分かりやすく入手できるポータルサイトを構築し、平時からの情報発信を強化する。

拡 大規模林野火災等特殊災害への対応体制強化 1,646万円
大規模林野火災等を想定し、情報把握・分析能力と指揮統制、現場対応力を強化し、大規模・特殊災害への対応体制の充実強化を図る。

新 津波避難行動シミュレーション 2,842万円
市内全域の津波浸水想定区域について、避難に関する時間等を検証し、避難行動や津波避難施設の確保に関する考え方を整理する。

拡 マンホールトイレ整備 2,120万円
避難所環境の改善のため、指定避難所を対象にマンホールトイレの整備を順次進める。

被災者健康支援 188万円
令和7年度被災者健康調査未回答世帯及び要確認者への訪問調査を実施し、健康面の支援が必要な方への個別支援やコミュニティ支援を行う。

拡 下水道施設の改築・更新（企業会計） 110億753万円
リスク評価や調査結果等に基づき、管路の老朽化対策や浄化センター・ポンプ場の更新、長寿命化対策等、下水道施設の計画的な保全を実施する。

柱3におけるその他の主要施策

- 介護給付・訓練等給付 286億3,585万円
- 障害児施設給付・措置 79億3,615万円
- 道路施設長寿命化修繕 56億7,347万円

- 障害者自立支援医療給付 39億5,237万円
- 感染症対策 41億7,569万円
- 指定難病医療費助成 29億6,664万円

職員の意識改革と行政経営

- 新技術の積極的な活用により、行政手続きにおける便利さを実感できるような環境を整える。
- 業務の見直し等により、働きやすい職場環境づくりや超過勤務縮減を推進する。

職員の意識改革と行政経営

新 職員エンゲージメント向上 1,903万円
職員の働きがいや意欲、組織に対する思い入れ等のエンゲージメントを向上させるため、実態の把握・分析を行い、効果的な施策の推進を図る。

新 コンプライアンス推進 6,712万円
職員のコンプライアンス意識の強化に加え、通話録音機やナンバーディスプレイの導入等のカスハラ対策を講じる。

新 窓口開庁時間短縮 755万円
窓口開庁のための事前準備、事後処理に係る超過勤務の縮減に資する取組みとして窓口開庁時間の短縮を実施する。

新 情報発信力の強化 352万円
重点的な施策等について、庁内連携のもと計画的な広報を行うとともに、民間の知見も取り入れながら全庁的な発信力の強化を図る。

拡 Full Digitalの市役所 7億4,049万円
デジタル技術を活用した市民サービスの充実、生成AIの活用や業務改革(BPR)の推進、DX人材の育成などにより、市民の利便性向上と業務効率化を図る。

新 特別市の推進 218万円
特別市の実現に向け、制度概要や効果について市民の理解が促進されるよう、周知広報等を実施する。

新 障害者雇用の推進 2,827万円
障害のある職員の働きやすさ向上のため、より従事しやすい業務の設定や支援体制等の環境整備を行う。

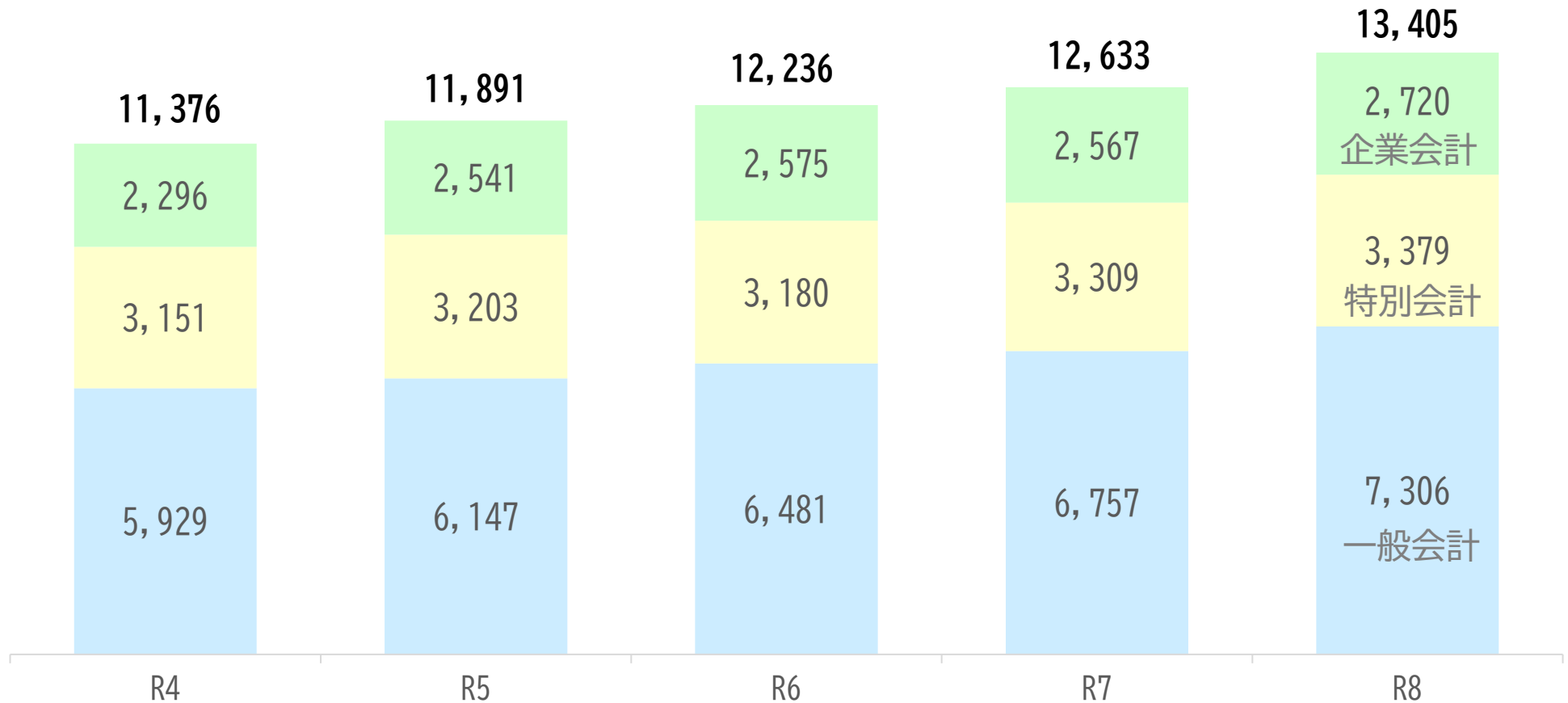
新 タレントマネジメントシステム導入に係る調達支援業務 1,821万円
人事管理に係る情報を一元化したシステムを導入し、職員配置をより適正に行い、職員のやりがい向上と人事関係業務の効率化を図る。

参考資料

(歳入歳出予算の推移等)

当初予算額（全会計）の推移

（単位：億円）

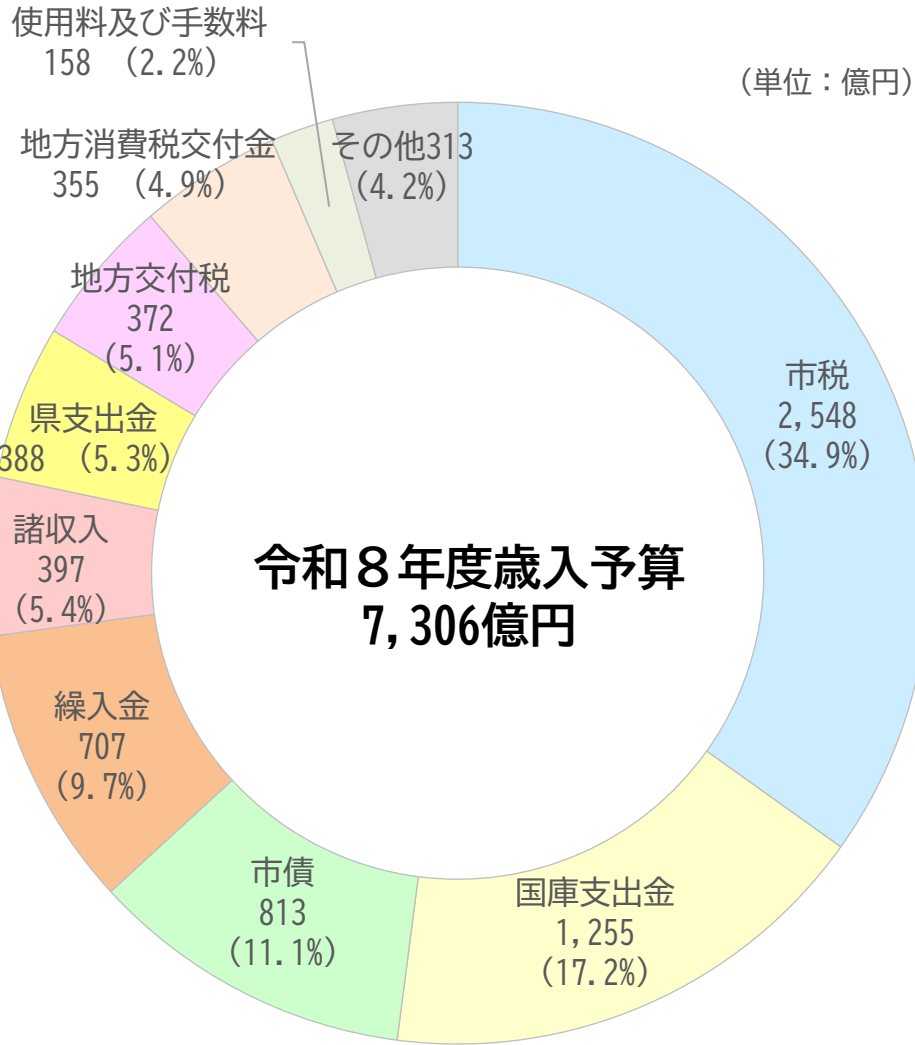


令和8年度の主な増減理由

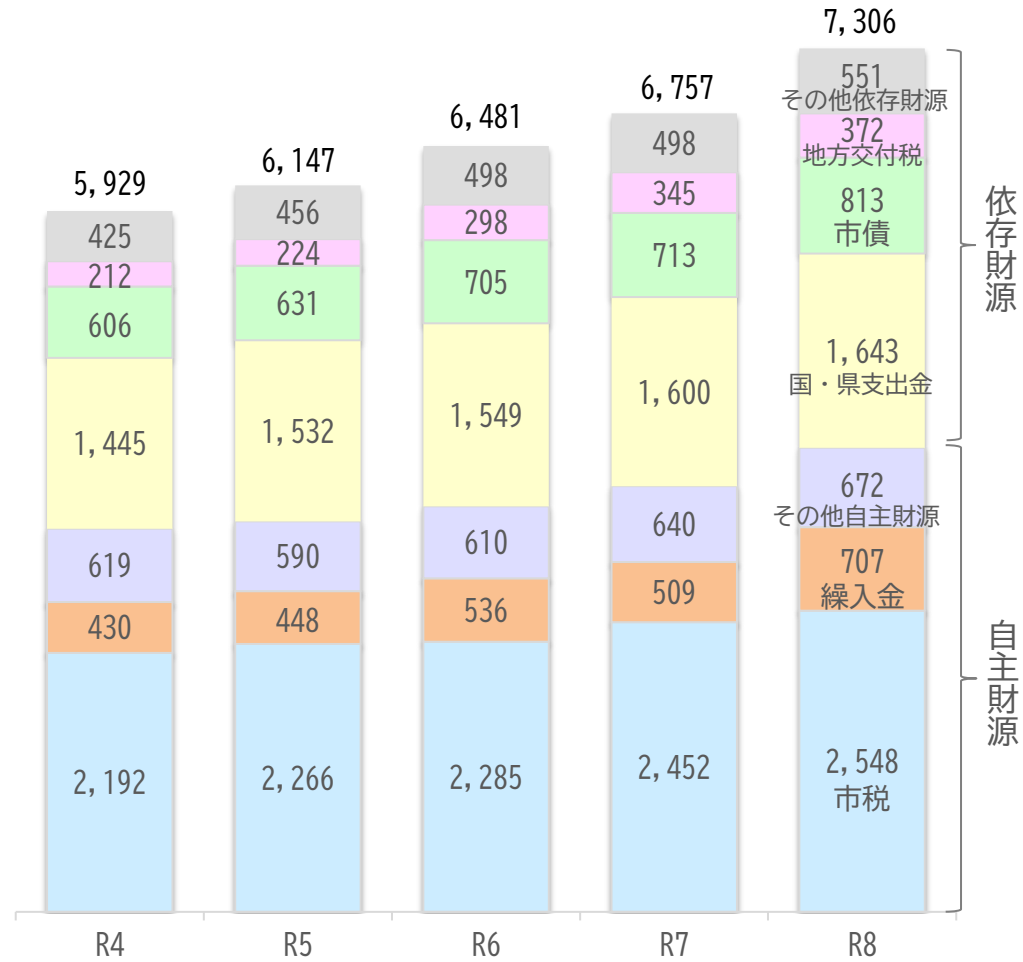
【市全体の当初予算額】 1兆3,405億円（前年度比+772億円）

- 【一般会計】 7,306億円（前年度比+549億円）：障害福祉サービス等の給付費や泉区役所建替の増加など
- 【特別会計】 3,379億円（前年度比+70億円）：介護保険事業特別会計における保険給付費の増加など
- 【企業会計】 2,720億円（前年度比+153億円）：高速鉄道事業における営業費用の増加など

歳入予算額の内訳と推移



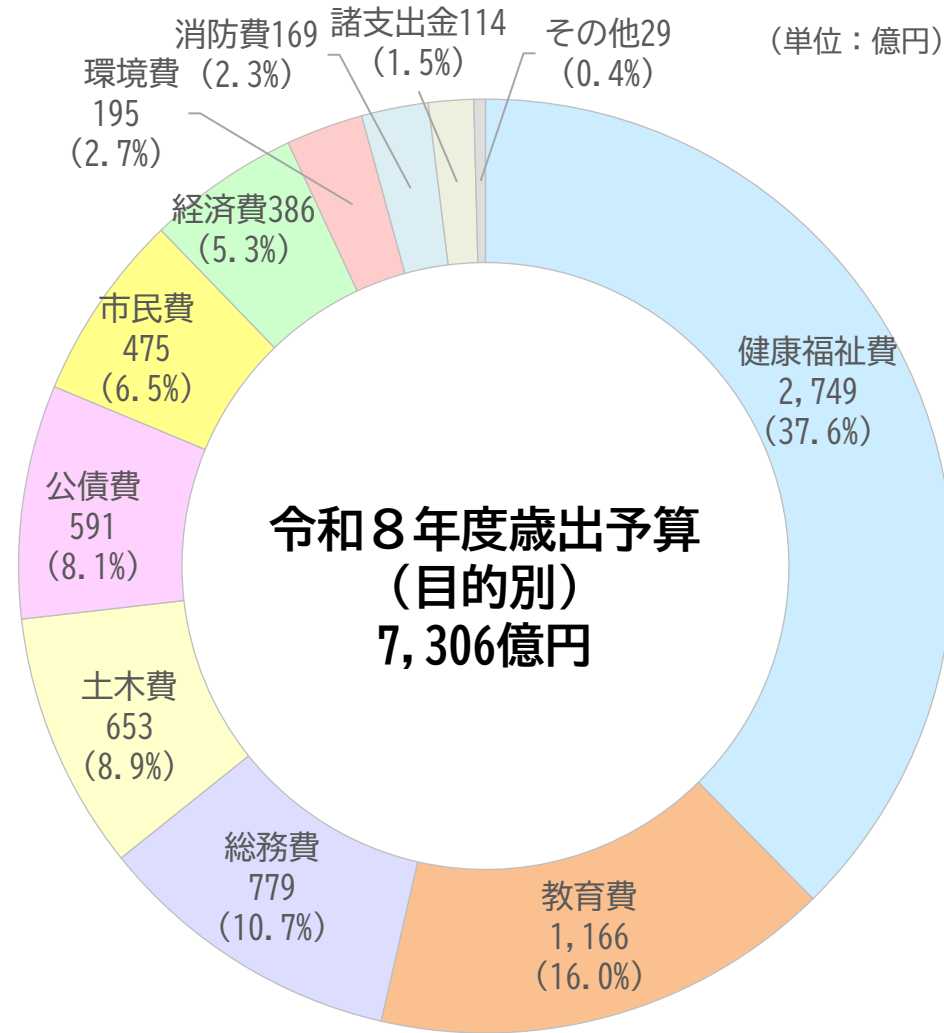
歳入予算の推移



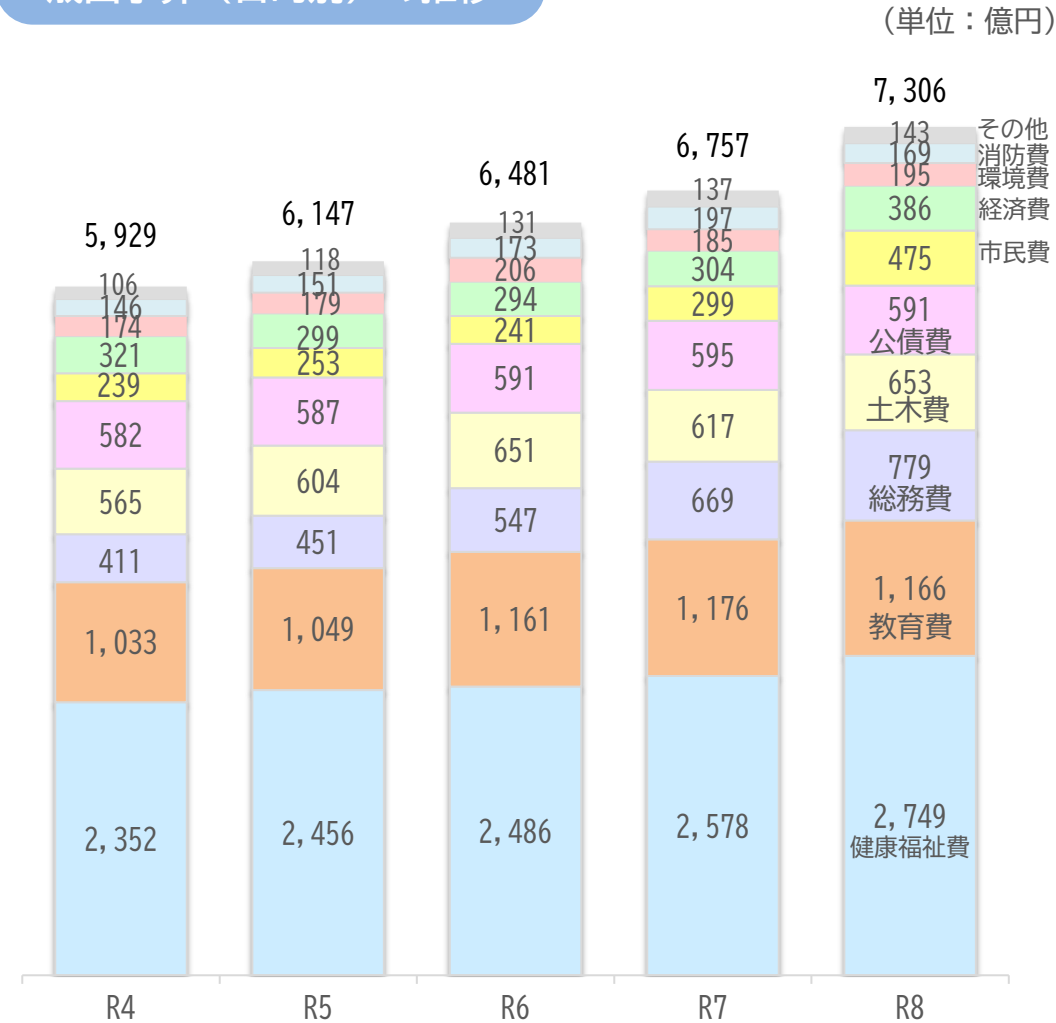
令和8年度の主な増減理由

- [市税]2,548億円（前年度比+96億円）：
給与所得等の増加による個人市民税の増加、土地に係る負担調整措置による固定資産税の増加など
- [市債] 813億円（前年度比+100億円）：泉区役所建替に係る市債の増加など

歳出予算額（目的別）の内訳と推移



歳出予算（目的別）の推移



令和8年度の主な増減理由

- [健康福祉費] 2,749億円（前年度比+171億円）：障害福祉サービスや保育施設等への給付費の増加など
- [総務費] 779億円（前年度比+110億円）：魅力活力創出基金への積立や市役所本庁舎建替経費の増加など

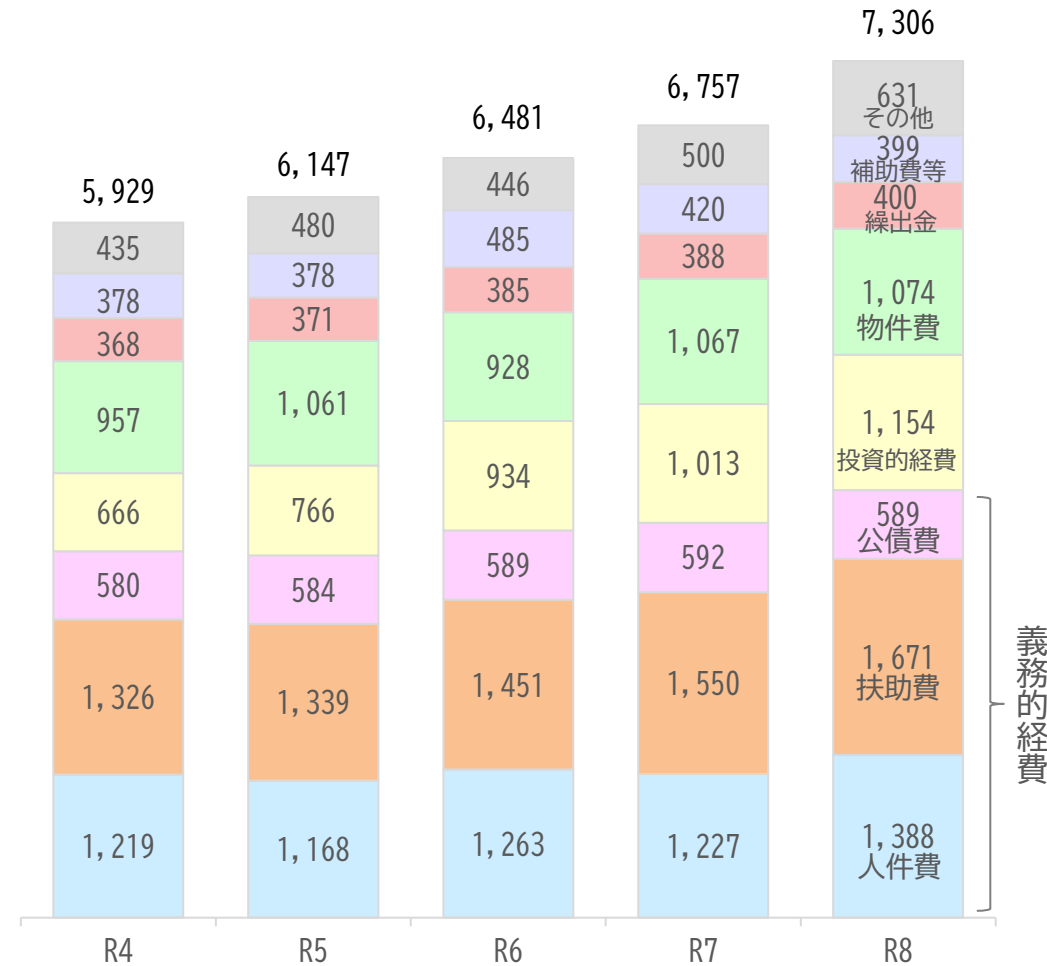
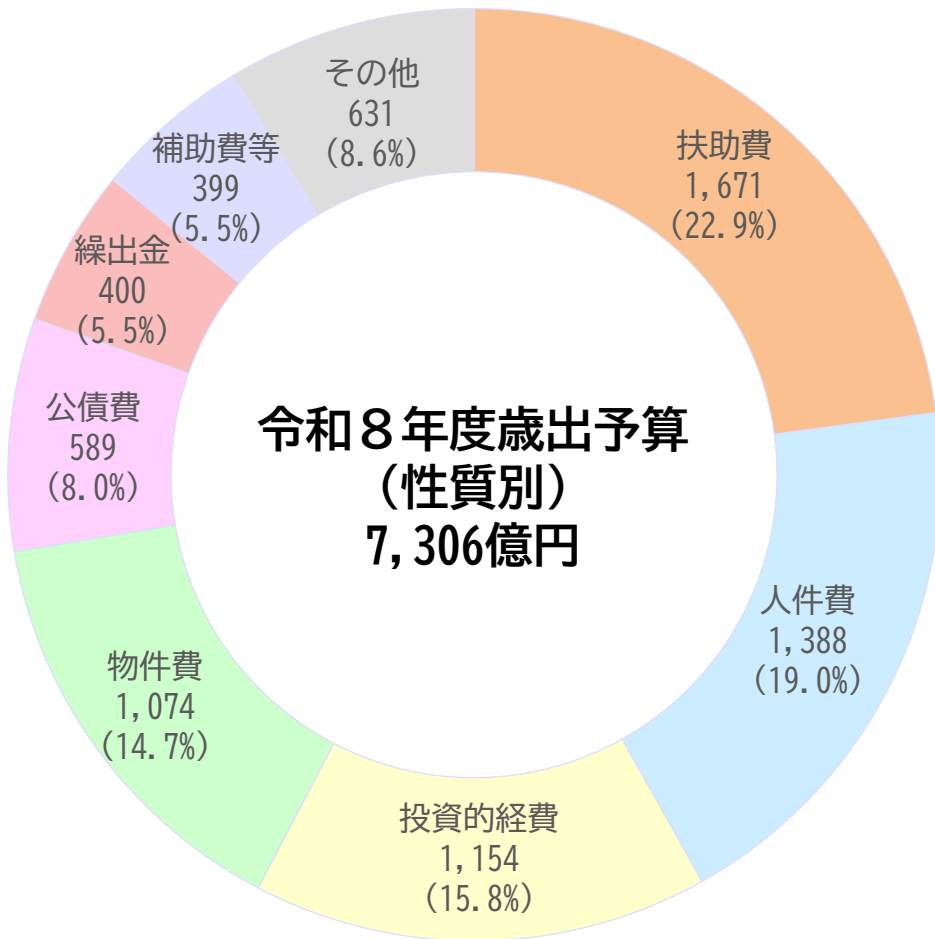
歳出予算額（性質別）の内訳と推移

（単位：億円）

歳出予算（性質別）の推移

（単位：億円）

令和8年度歳出予算 （性質別） 7,306億円



令和8年度の主な増減理由

- 【義務的経費】 3,648億円（前年度比+279億円）：人件費、障害・子育て関連の扶助費の増加など
（※義務的経費：社会保障関係費といった扶助費、人件費、公債費の合計）
- 【投資的経費】 1,154億円（前年度比+141億円）：泉区役所・市役所本庁舎建替やスポーツ施設整備費の増加など

令和8年度当初予算編成における財源確保

- 継続的な社会保障関係経費の増加などにより厳しい財政状況が続く中においても、歳入歳出両面にわたる各般の取組みや、基金取崩などの財源対策を講じることにより、必要な予算を確保した。

歳入・歳出面での対応

市税等の収入率向上や国・県支出金の最大限の活用、既存資源の有効活用等による財源創出により歳入を確保するとともに、事務事業の見直しや効率化、予算の厳選重点化の徹底により歳出を削減

- 主要一般財源：3,471億円を確保（前年度比+176億円）
 - ・ 個人市民税：1,021億円（同+38億円）
 - ・ 固定資産税：932億円（同+34億円）
- 歳入アップの取組による歳入増
 - ・ ふるさと応援寄附等：31億円（同+15億円）
 - ・ 基金運用収入：27億円（同+12億円）
- 国の財政措置が講じられる市債の活用
 - ・ 緊急自然災害防止対策事業債：61億円
 - ・ 緊急防災・減災事業債：16億円
 - ・ デジタル活用推進事業債：7億円
- 国からの財政支援の積極的な活用
 - ・ 地域未来交付金：16億円（令和7年度への前倒し含む）
- 新規・拡充施策実施のための財源捻出：9億円
- 事業の見直しやスクラップアンドビルド：1億円
 - ・ 目的達成等を踏まえた事業の終了、事業手法精査等による見直し等

※ 上記のほか、デジタル化やペーパーレス化等による事務経費削減や、内部管理経費の適正化など、効率的な予算執行等によるコスト縮減に取り組んでいく。

財源不足額への対応

【財源不足額】上記取組みにより圧縮したものの、△405億円（令和7年度当初予算：△382億円）となった

- 財源不足に対応するため、財政調整基金取崩などの財源対策を実施
- なお不足する150億円は、市債管理基金からの借入れなどの特例的な対策により対応

※令和8年度末時点の財政調整基金残高：14億円

財源対策の内訳	金額
・ 財政調整基金取崩(※を除く)	149億円
・ その他基金取崩	86億円
・ 行政改革推進債発行	20億円
・ 保有株式売却益(※)	20億円
・ 市債管理基金借入金	130億円
合計	405億円

特例的な
対策